

福・医の離職率 14.7%

16 大産業中の 7 番目に（厚生労働省調査）

厚生労働省が 8 月 24 日に発表した 2015 年雇用動向調査の結果で、「医療・福祉」の離職率は前年と比べて 1 ポイント減り 14.7% だったことが分かった。

16 大産業中、4 番目の高さから 7 番目に下がった。全産業の 1 年間の入職者は約 774 万人、離職者は約 713 万人。

年初の常用労働者数に占める割合を示す入職率は 16.3%（1 ポイント減）、離職率は 15.0%（0.5 ポイント減）で、3 年連続して入職超過となった。

離職の理由では出産・育児が 1.6%、介護・看護が 1.3% あった。

一方「医療・福祉」の入職者は 103 万 9,100 人（3 万 1,400 人増）、離職者は 94 万 900 人（3 万 1,300 人減）。どちらも産業別では 3 番目に多かった。

調査は、日本標準産業分類に基づく 16 大産業の労働力の移動実態を把握するため、全国 1 万 4,855 事業所（有効回答率 67%）を対象に行った。

（福祉新聞・第 2777 号 2016 年 9 月 5 日）